

## ランチョンセミナー 1 【LS1】

日時：2026年4月9日(木) 12:20～13:20

会場：Room 1 メインホール(福岡国際会議場)

Santen

子どもの近視の  
未来を考える

～日本とシンガポールの現状から見る今後の展望～



座長

川崎 良 先生  
(大阪大学)

座長

松村 沙衣子 先生  
(東邦大学)

近年、世界的に近視人口が急増しており、特に小児期に発症する近視は、将来的な視覚障害リスクを高める可能性があるため、喫緊の課題として注目されています。

近視は進行すると、緑内障や網膜剥離などの重篤な眼合併症リスクが高まることが報告されています。特に近視の発症年齢が低いほど強度近視に至るリスクが高いため、早期の介入で近視の進行を緩やかにすることが重篤な眼合併症のリスクを下げることに繋がると期待されています。

本セミナーでは、日本における近視の現状と課題、近視進行抑制治療の意義について、川崎良先生にご講演いただきます。

また、世界有数の“近視大国”シンガポールでは、国策として近視対策が進められており、公衆衛生的なアプローチが注目されています。今回はその最前線の取り組みについて、SAW Seang Mei先生をお招きし、ご紹介いただきます。

「子どもの近視の未来を考える」というテーマのもと、日本とシンガポールの現状から見る今後の展望を共有し、子どもたちの健やかな視力を守るために、私たちが今何をすべきかを考える機会となれば幸いです。

演者  
1

## 我が国の近視を取り巻く課題と近視進行抑制治療の現在

Emerging challenges of myopia in Japan and the current of myopia control treatments

川崎 良 先生 (大阪大学)

演者  
2Frontline Myopia Strategies and Evidence :  
Singapore's Public Health Approach

SAW Seang Mei 先生

(Distinguished Wallace Foulds Professor, Eye ACP,  
Duke-NUS Medical School)